

令和6年度野々市市総合計画審議会 議事録

日 時 令和6年10月1日（火） 13時30分から14時40分

場 所 野々市市役所2階 ホール椿

次 第 1 開会

2 委嘱状交付

3 副市長あいさつ

4 議事

(1) 会長及び副会長の選出について

(2) 令和5年度における野々市市第二次総合計画の推進状況について

(3) 令和5年度における野々市市行政改革大綱（第7次）の進捗状況について

5 その他

6 閉会

出席委員	池田 千可子委員	石田 修委員	上野 弘子委員	大西 彩愛委員
	笠間 悟委員	堅田 芳弘委員	北川 千里委員	北村 恒委員
	米谷 義浩委員	澤村 昭子委員	下川 雄一会長	高瀬 寿彦委員
	中村 昭一委員	舟津 直光委員	吉岡 潤委員	
欠席委員	島田 颯稀委員	橋谷田 豊副会長	藤田 雅顯委員	松岡 砂都美委員
事務局	山口副市長	栗総務部長	田村教育部長	東地域政策部長
	増山健康福祉部長	道下建設部長	押田総務課長	中野秘書課長
	木戸口企画財政課長			

1 開会

委員 19 名のうち、15 名が出席

会議概要の説明

資料確認

2 委嘱状交付

昨年度末で任期が満了となったことから委員全員の委嘱状を机上配付にて交付

3 副市長あいさつ

4 議事

(1) 会長及び副会長の選出について

会長：金沢工業大学 建築学部長 下川委員

副会長：石川県立大学 産学官連携学術交流センター長 橋谷田委員

(2) 令和 5 年度における野々市市第二次総合計画の推進状況について

事務局より説明（資料 1）

＜事前に委員より提出のあった質問・意見への回答＞

【 質 問 】

35 ページ 8-1-1「関係人口（野々市市ファン）拡大に向けた取組」

関係人口の拡大はとても難しい課題であるが、今後、具体的にどのような取り組みをしていく予定か。

【 回 答 】

関係人口は全施策共通の基本姿勢の 1 つとして、野々市ファン拡大に取り組むこととしている。これまでは、野々市会などの様々な組織と連携して市の魅力の発信を行ってきたが、県人会などのイベントにおいても多様な手段を利用して効果的に市の魅力をアピールしていきたい。また、SNS で市の情報発信をしているが、今年度から LINE 公式アカウントで野々市ブランドの紹介をしている。SNS を通して、野々市市を身近に感じてもらう、知ってもらう、興味をもってもらう形で情報発信をし、SNS の登録者数の増加につなげていく。

野々市ファンには、応援してくれる人の FAN と楽しいの FUN の意味が込められている。

「野々市市は何か楽しい、野々市市に来たら楽しいことがある」と感じてもらえるようなまちづくりを進めていきたい。市民・大学・学生が主体で実施しているものなど、行政単独では実現できない魅力的な様々なイベントが企画・実施されており、今後も市民協働、そして産学官連携で野々市ファンの拡大に向けて取り組んでいきたい。

【 質 問 】

33 ページ 7-2「交通の円滑化と公共交通網の充実」

野々市の各地域は大変にぎわっているが地域をつなぐ道路、「高尾郷線」やその他の道路で大変混雑しており、今後どのように対応するのか。

【 回 答 】

市内外へ円滑な交通を確保するため、都市計画道路網の整備を進めている。現在「高尾郷線」及び「野々市中央公園西線」の全線開通に向けた整備に努めており、完成に伴い交通量が分散することで交通混雑の緩和につながると考えている。

<当日の質疑応答>

【 質 問 】

27 ページ 「商工業の活性化」

昨年度から商工会でキッチンカー事業を平日限定で取り組んでいるが、IR 野々市駅前や北陸鉄道の野々市工大前駅にもキッチンカーの出店ができないか。

【 回 答 】

施設管理者とも相談しながらできる限りの取り組みが進められるように検討していきたい。

【 質 問 】

計画の中間期である令和8年の目標値を超えている指標があるが、時点修正で目標値を見直すのか、目標値は変えずに中間期に見直すのか。

【 回 答 】

時代の変化が早く目標値を超えている指標もあるため、計画の中間見直しの令和8年度に目標値を見直す予定。

【 質 問 】

33 ページ 7-2「交通の円滑化と公共交通網の充実」

基本目標に「バスや自転車などが便利に」や「コンパクトで快適なまちをつくります」とあるが、コミュニティバスの利用はとても良いと思うが、その他の新しい移動交通について何か考えているものはあるか。

【 回 答 】

新しい移動交通手段については今のところ考えてはいないが、野々市市と白山市のコミュニティバスの行政枠を超えての乗り入れや、I Rや北陸鉄道石川線との乗り継ぎ、発着時間の調整などの利便性向上策について検討していきたい。

【 質 問 】

6 ページ 2-1-1 「共に支え合う地域福祉の推進」

めざす姿に向けた今後の課題として「高齢者が抱える様々な課題が複雑化してきていることから」と記載されているが、高齢者だけでなく障害のある方や生活困窮の方、子どもを含めて世帯が抱える様々な課題が複雑化してきている中で、重層的な支援などが必要になってきていることから、表現を修正してはどうか。

【 回 答 】

高齢者が抱える様々な課題の他、高齢者に関わらずそれぞれの世帯にそれぞれの課題があると考えているため、修正する方向で検討していく。

【 質 問 】

5 ページ 1-4-1 「男女共同参画の意識づくり」

取り組み概要に「効果的な啓発活動や方法を検討し、普及啓発を行います」とあるが、なかなか現状は男女共同参画にはなっていないように感じており、どのような具体的な方法を検討しているのか。

【 回 答 】

推進委員の皆様と一緒に検討していきたい。また、野々市市パートナーシップ宣誓制度を導入しており、多様な方々に活躍していただけるような取り組みを進めていることから、様々な観点から検討をしていきたい。

(3) 令和5年度における野々市市行政改革大綱（第7次）の進捗状況について

事務局より説明（資料2）

<事前に委員より提出のあった質問・意見への回答>

【 質 問 】

1 組織と人材の改革 「2 若手職員の育成」

採用後10年間で3つの部署を経験する職員の割合に対する評価が「C」評価であるが、何が原因なのか。

【 回 答 】

採用後 10 年間で 3 つの部署を経験する職員の割合が目標値 100%に対し、令和 5 年度は 46.2%であったため、「C」評価としている。この割合が低い要因は、専門的な資格を有する場合や、育児休業を取得した場合などにおいて、達成できないケースがあるため。

【 質 問 】

1 組織と人材の改革 「6 ワーク・ライフ・バランスの推進」

令和 5 年度の男性の配偶者出産休暇取得割合が 33%となっている理由は何か。

【 回 答 】

取得可能な職員が 9 人のうち 3 人が取得したため、33%となった。

取得可能な職員には制度の周知を行っており、過去には取得割合が 90%ほどの年もあったため、今後も引き続き周知の徹底に努めていきたい。

5 その他

6 閉会